

令和5年度第2回中津川市公共交通会議 議事要旨

日 時 令和5年6月23日（金）13:30～14:45
場 所 中津川市役所4階 大会議室
出席者 委員19名（うち代理出席6名）、事務局3名、随行者1名

■開会

■会長あいさつ（渡邊副市長）

■報告

報告1 観光地域づくり法人（DMO）の登録に向けて

- ・報告1について説明（（一社）中津川市観光局）

【質疑・意見等】

○今井委員（公共交通事業者）

- ・タクシーも公共交通に位置付けられており、他の市町村においてもタクシー事業者と連携して観光タクシー等に取り組んでいる事例もあるが、（仮称）企画戦略委員会の事業者の中に「タクシー事業者」が入っていない理由はなにか。

○（一社）中津川市観光局

- ・（仮称）企画戦略委員会の他に、具体的な戦略を組み立てる（仮称）企画戦略部会の構成を予定しており、そちらに参画していただきたいと考えている。そのため、（仮称）企画戦略委員会の事業者の中にタクシー事業者は入れていない。

○今井委員（公共交通事業者）

- ・（仮称）企画戦略部会はどのようなことを行うのか。

○（一社）中津川市観光局

- ・インバウンド観光、国内誘客観光等（時間をかけて詰めていかなければならないもの）について、（仮称）企画戦略部会で具体的なコンテンツやサービスを練っていきたいと考えている。

報告2 令和5年度自動運転実証実験について

- ・報告2について説明（次世代交通研究室）

【質疑・意見等】

○福本委員（学識経験者）

- ・実証実験を行い、何を検証しようとしているのかをちゃんと位置付けておかないと、やっで終わっただけになる。
- ・デマンド運行についても、既に付知地区ではコミュニティバスを運行させていて、デマンド的に運用している。それなのになぜわざわざこの地区に絞って、無料でやらなければならないのか。既存の公共交通とどういう関係性をもって行うのか。
- ・自動運転の実証実験自体について否定はしないが、市の移動問題を考えた時に、自動運転はどのような性質でどう活用できるのかビジョンを描いて、市民に対しても理解できるように説明するように努力していただきたい。

○次世代交通研究室

- ・デマンド運行については、乗合のニーズ、走行範囲の検証のために実施する。また、自動運転の走行ルート以外をデマンド運行で補完し、デマンド運行から自動運転に繋ぐために、実証実験を行う。

○渡邊会長

- ・決して自動運転を実証していくことが市としての目的ではなく、地域づくりという大きな目的があり、その中で自動運転を絡めた事業を行うもの。自動運転は地域づくりの一つのアイテムという位置付けである。
- ・自動運転については、東京大学の戦略もあると思うが、市としてもしっかりと戦略を持って事業に取り組んでいる。

■議題

議題1 神坂PAスマートIC工事に伴う北恵那バス馬籠線の迂回運行について

- ・議題1について説明（事務局）
- ・交通事業者から補足（北恵那交通株式会社）

【質疑・意見等】 なし

【採決】 承認

議題2 神坂地区コミュニティバスの再編について

- ・議題2について説明（事務局）

【質疑・意見等】 なし

【採決】 承認

■議事終了

■その他

(1) 中津川市地域公共交通計画の見直しについて

- ・その他(1)について説明（事務局）

【質疑・意見等】

○福本委員（学識経験者）

- ・目標値について、既に達成したので見直すということだが、大切なのは、なぜ達成しているのか考察すること。理由をしっかりと考察しないと新しい目標を設定できない。
- ・すべての路線について、その路線の役割を整理した方がいい。
- ・計画に記載の事業についても、事業の取り組み状況や進捗を整理する必要がある。

■閉会